

南山大学人類学研究所2023年度第4回公開シンポジウム
国際化推進事業「なりわいと移動の人類学：中華圏の研究者との協同から」関連企画

海を越えて南洋に 渡った人たちの体験 —戦争とジェンダーの視点から—

日時 2024年3月3日(日) 13:30-17:30 (開場13:00)

会場 南山大学 G25教室

地下鉄 名城線「八事日赤」駅より徒歩約8分

お申込

ご参加いただくには事前登録が必要です。下記のURLまたはQRコードからお申込ください。
締切:3月3日12時 自動返信されるメールにzoomの案内があります。

<https://app.nanzan.ac.jp/regform/regist/univ/jinruikenreception/4thsymposium>



本シンポジウムは、帝国日本の周縁に位置付けられた南洋という地域に視点を置き、戦争とジェンダーの関係性の観点から国策の動員体制による戦時・戦後における人の移動に注目し、戦争体験をめぐって、日本人移民や軍属、徴用作家らなどの体験がいかにジェンダー化されたのかを考察する。

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:30 | 開会挨拶 |
| 13:35-13:45 | 趣旨説明 張雅 (南山大学人類学研究所・非常勤研究員) |
| 13:50-14:30 | 川島淳 (沖縄国際大学・非常勤講師)
「沖縄出身南洋移民女性の生業と戦争—ジェンダーの視点から—」 |
| 14:35-15:15 | 大久保由理 (東京大学・特任研究員)
「フィリピンで「大東亜共栄圏」建設を目指した青年:ジェンダーの視点から日記を読み直す」 |
| 15:20-16:00 | 張雅 (南山大学人類学研究所・非常勤研究員)
「1940年代に南洋へ赴く男性作家と女性作家の役割について」 |
| 16:15-16:30 | コメント 宮沢千尋 (南山大学・教授) |
| 16:30-16:45 | コメント 宮脇千絵 (南山大学・准教授) |
| 16:45-17:30 | 質疑応答 |
| 17:30 | 閉会挨拶 |

Hybrid

参加無料

南山大学人類学研究所

- Phone : 052-832-3111 (代表)
- Email : ai-nu@ic.nanzan-u.ac.jp
- HP : <http://rci.nanzan-u.ac.jp/jinruiken/>
- Facebook : 「人類学研究所」で検索
- X : @jinruiken